



「はじめる」から「かなえる」へ。福島県では、震災から10年を機に「ふくしまから はじめよう」からのバトンを渡す、スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。

令和6年度 福島県当初予算 1兆2,381億円（うち復興・創生分 2,394億円）

総合計画前進予算 令和6年度 福島県当初予算の概要について

福島県 財政課

総合計画の3年目となる令和6年度は、福島県が目指す将来の姿の実現に向け、これまで続けてきた挑戦をさらに「シンカ」させていくことが重要です。総合計画を着実に前進させるため、特に重要な行政課題を8つの重点プロジェクトとして展開し、重点的に取り組みます。当初予算の総額は1兆2,381億円で、このうち2,394億円が復興と地方創生を進めるために充てられます。

ホームページで詳しい資料を公開しています。 [福島県財政課](#) [検索](#)

歳入と歳出の状況

【歳入】

図表1

総額 1兆2,381億円

(億円)

県税	2,355
地方交付税等 (うち実質的な地方交付税)	2,409 (2,098)
国庫支出金	1,947
繰入金	1,172
県債（臨財債除く）	1,445
その他	3,053

【歳出】

図表2

総額 1兆2,381億円

(億円)

人件費	2,519
扶助費	211
公債費	1,061
投資的経費	2,048
一般行政経費	6,542

※項目ごとに表示単位未満を四捨五入しています。

歳入のうち、県税収入は、前年度比で54億円減の2,355億円、地方交付税等は、前年度比121億円増の2,409億円となっています。

また、「原子力災害等復興基金」などの各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めました。
(図表1)

歳出については、根拠に基づく政策立案の考え方を基本とし、徹底した事務事業の見直しに努め、予算編成を行いました(図表2)。

8つの重点プロジェクト

令和6年度当初予算で取り組む事業の一部をご紹介します。

【「復興・再生」の加速】

①避難地域等復興加速化プロジェクト

【40事業 712億円】

◆双葉地域における中核的病院整備事業

(病院局) … 【1.1億円】

双葉地域の医療提供体制の中核を担う新病院を整備するため、基本計画の策定や大野病院の解体設計などを実施します。



◆福島県高付加価値産地展開支援事業

(農林水産部) … 【34.6億円】

原子力被災12市町村の営農再開の加速化に向け、広域的に生産、加工等が一体となった高付加価値生産などを展開する産地の創出に必要な取り組みを支援します。



②人・きずなづくりプロジェクト

【39事業 52億円】

◆グローバル人材育成事業

(教育庁) … 【0.2億円】

本県の高校生が、グローバルな視点で地域課題解決探究活動を進め、海外でその活動を実践し、本県の発展に貢献するグローバル人材の育成に取り組みます。



◆チャレンジふくしま戦略的情報発信事業

(総務部) … 【5.5億円】

根強く残る風評の払拭と時間の経過とともに加速する風化の防止を図るため、復興のあゆみを進める本県の姿や観光などの魅力を県内外に向けて戦略的に発信します。



③安全・安心な暮らしプロジェクト

【114事業 735億円】

◆被災者生活再建支援体制推進事業

(危機管理部) … 【0.1億円】

被災者支援を早期に実現するため、住家被害認定調査の体制を強化するとともに、被災者へ支援を行うため、災害ケースマネジメントの実施体制の構築を支援します。



◆そなえるふくしま防災事業

(危機管理部) … 【1.0億円】

県独自の防災VRなどを活用した防災出前講座を実施するとともに、防災アプリの機能拡充や利用促進を通して、県民の防災意識の高揚を図ります。



④産業推進・なりわい再生プロジェクト

【69事業 686億円】

◆オールふくしまの酒づくり支援事業

(農林水産部) … 【0.5億円】

酒米産地や蔵元に機械・機器の整備などを支援するとともに、「オールふくしまの酒づくり」を加速するため、県オリジナル酒造好適米の品種開発に取り組みます。



◆チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業

(商工労働部) … 【4.8億円】

ロボットや要素技術の研究開発、ロボットフェスタの開催のほか、社会実装に向けた実証試験などへ支援を行い、ロボット関連産業の育成・集積を図ります。



【「地方創生」の推進】

⑤輝く人づくりプロジェクト 【104事業 260億円】

◆結婚・子育て応援事業

（こども未来局）… 【3.8億円】

結婚から子育てまでのライフステージに応じた事業を市町村や企業などと連携して行うとともに、市町村



が独自に実施する少子化対策の支援などを行います。

◆ふくしま脱メタボプロジェクト事業

（保健福祉部）… 【1.1億円】

メタボ・肥満該当者の割合の改善を図るため、市町村や事業所と連携を図りながら、ふくしま健民アプリを活用したキャンペーンやモデル事業などを実施します。



⑥豊かなまちづくりプロジェクト 【45事業 113億円】

◆魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業

（生活環境部）… 【0.4億円】

鉄道と沿線地域の活性化の取り組みを促すため、JR水郡線全線開通90周年記念イベントとして利活用プレゼン大会な



どを開催するとともに、各種PR活動などを実施します。

◆わたしから始めるごみ減量事業

（生活環境部）… 【0.4億円】

県内のごみの排出量を削減するため、モデル構築などの具体的実践とごみ減量アイデアの普及などによる意識啓発の促進を図ります。

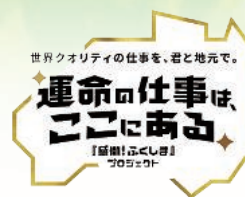


⑦しごとづくりプロジェクト 【54事業 990億円】

◆『感動！ふくしま』プロジェクト

（商工労働部）… 【4.3億円】

県内企業の人材確保を図るため、企業の魅力や福島で働くすばらしさを伝える取り組みを総合的に展開し、若者の県内への定着・還流を促進します。



◆農業でふくしまぐらし支援事業

（農林水産部）… 【0.9億円】

県外からの就農促進のため、就農時の初期費用の負担軽減や雇用就農者の労働環境の改善などを行うことにより、より安定した新規就農者の確保に取り組みます。



⑧魅力発信・交流促進プロジェクト 【38事業 42億円】

◆ふくしま若者Uターン促進プロジェクト事業

（企画調整部）… 【0.4億円】

首都圏に在住する本県出身の若者を対象に、本県の魅力の発信や同世代とつながり、福島との関係性を深める機会を提供し、Uターンに向けた機運を醸成します。



◆国際定期路線等開設・再開事業

（観光交流局）… 【8.9億円】

東日本大震災以降初となる国際定期路線の開設支援や、国際チャーター便の運航促進を図ります。

